

## 2022年地本新春団結旗びらき

# 国労運動の灯をともし続けていくために、 一人ひとりが奮闘しよう！

## 公共交通の利便性・安全の確保を

2022年新春団結旗びらきは、1月8日11時からNPD貸会議室において30名の参加で開催した。

第1部は「組織強化・拡大に向けた地方本部の取り組みについて」と題して、小林組織部長の提案で、今年の拡大行動の意思統一の確認を行った。

第2部では、三宅副委員長の司会により、天野委員長あいさつ、乾杯は杉本分会長（岡山連合）、そして、各支部・分会の代表者の創意工夫した決意表明を行いました。その後、福引を行い、この一年間の闘いに向けた決意を全員で固めあった。



### メッセージ

岡山県議会議員

大塚愛

岡山市議会議員

鬼木のぞみ

### （第1部）

#### 拡大行動の意思統一

国労は昨年開催した第90回定期全国大会で、8年間にわたり継続してきた「闘争指令1号」（21/12/05）の取り組みを総括するとともに、新たな目標を設定し、組織強化・拡大に向け全力で取り組むことを決定した。岡山地方本部としても、あらためてこれを機に組織拡大に向けて意思統一を図り、2022年を「組織拡大の年」とするよう組織の総力を挙げて「行動に移す」ことが求められている。コロナ禍で非常に動きに

くい状況が続いたが、今後の感染状況を注視し最大限の注意を払いながら、できる行動を模索しながら取り組んでいこう！  
とにかく動かなければ何も生み出すことはできない。重要なことは、結果として拡大に至らなくてもその過程で動いたことは必ず今後の運動につながってくるという点である。  
厳しい状況を逆にチャンスと捉え、私たちが自身の「生き様」をかけたこの国労組織・国労運動の灯をともし続けていくために、一人ひとりが奮闘しよう！

### （第2部）

#### 天野委員長あいさつ

会社は、減収を背景にしながら、年末手当の大幅な減額、ワンマン運転の拡大、さらに中国統括本部を設置しながら間接部門の人員削減の提案をし、大幅なコスト削減を行っている。ダイヤ改正では、列車を44本減便にして、利用者が少ない区間は列車を走らせない施策を展開している。そして、芸備線などローカル線の廃止を目論んでいる。これに対し、県と沿線13市町が、ローカル線廃止・列車減便などの施策を批判している。私たちは、公共交通の利便性・ローカル線廃止反対・安全の確保などを声を上げて行きたい。  
22春闘は、拡大中央委員会決定されますが、県労・地域との共闘を大切にし、



駅の無人化と絡めて運動を行っていききたい。

組織拡大は、第一部で意思固めが出来た。拡大は動かなければ成果が出て来ない。各級機関がアクションを起こし、成果を出していききたい。

#### 各支部・分会決意表明

- ① 地域に根ざした運動もやっていきたい。
- ② 労働条件の改善を求めて闘っていききたい。
- ③ 組織拡大を頑張っていく。
- ④ 若者の退職者が増えていく。明るい職場にするのは国労だ。
- ⑤ 春闘（賃上げ）を頑張っていく。
- ⑥ 駅の無人化・列車大幅減便などに反対していく。

### 駅無人化反対宣伝行動

日時 2022年2月12日（土）

行動内容 午前 各支部行動

第一支部 長船駅・呂久駅・西大寺駅周辺

第三支部 金光駅・松永駅周辺

全体行動 14時～ 岡山駅西口通路